

令和 8 年度 第 1 回岡山市都市・消防政策審議会

と き 令和 8 年 6 月 24 日（水） 13:30～14:30

ところ 岡山市役所本庁舎 1 階 多目的ルーム

出席 委員 西山会長、中村副会長、岡本委員、谷川委員、堀委員、
松本委員、八百板委員

岡山市 都市整備局

難波都市整備局長、鈴木都市・交通・公園担当局長、
金川都市整備局次長（都市・交通部長）、菊地道路部長
橋本交通政策課長、江川都心交通整備推進担当課長

事務局 都市企画総務課

●議 事

路面電車の延伸環状化（ハレノワ線）の事業事前評価について

標記の件について、資料を基に説明。

○意見等

（意見）表町商店街について、シャッター街がまだまだ多く寂しいため、ハレノワ周辺を活性化させ、本事業で岡山駅前からの賑わいを広げてほしい。

（回答）地元からハレノワ前電停の設置要望もあった。ハレノワ開館後に表町千日前エリアで 48 の店舗の出店もあり、賑わいが生まれつつある。本事業で都心全体の活性化を図りたい。

（意見）サイドリザベーションとしたことで、道路と軌道が交差する箇所が生まれるが、交差点の安全性、渋滞の発生については大丈夫か。

（回答）安全性について、現在の信号サイクルに路面電車の表示を組み込むことで、車両と路面電車が交錯しないような信号制御を計画している。

渋滞について、路面電車が交差点内を進行する時間を見込んで交差点解析をした結果、交差点需要率内で交通処理が可能なことを確認している。

（意見）ハレノワの公演後において、多くの人が新設する電停付近に溢れることが想定されるため、人の渋滞対策や自転車・歩行者の安全対策をしっかりと検討してもらいたい。

（回答）今後の詳細な設計において、ハレノワの公開空地をうまく活用し、安全対策を考えていきたい。また、ハレノワ、イベント主催者と連携した対応策についても検討していく。

（意見）路面電車は観光資源の一つであると感じており、B/C だけでは測れない「環状化」は、岡山市の良いシンボルになるのではないかと感じている。

○審議結果

- ・当計画の事業化は妥当である。
- ・新設電停付近の歩道の安全性について十分検討すること。

(以下余白)